

第39回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成27年2月4日（水）18:30～20:00

「ことば蔵」1階交流フロア

2 参加者23名

3 会議内容

(1) 参加者自己紹介

自己紹介と「特技」を1人ずつ簡単に発表

(2) イベント報告

前回運営会議以降、行われたイベントをスライドで報告

(3) やりたいこと発表会

今回プレゼンされた企画

① 追手門学院大学インターンシップ（新規提案）

内 容

- ・ことば蔵で追手門学院大学学生インターンシップを受け入れる
- ・期間は約1ヶ月間（7月中旬～8月頃）
- ・具体的な実習内容をどのようにすればよいか

会議参加者からの意見

- ・追手門学院大学出身で伊丹市在住の作家である宮本輝氏のPR活動を行い、ことば蔵の「伊丹作家コーナー」を活性化するような実習内容はどうか
- ・図書館や運営会議への集客アイデアを出してもらうのはどうか
- ・ことば蔵ホームページやフェイスブックを編集してもらうのはどうか
- ・伊丹やことば蔵をPRする動画を作成してもらってはどうか

今 後

- ・今回の会議内容を踏まえて具体的な内容を詰めていきます

② 「詩のボクシング」（新規提案）

内 容

- ・二手に分かれて自作の詩の朗読合戦を行う大会
- ・すでに全国で開催されている
- ・大会後、朗読した詩をZINEで冊子にする

会議参加者からの意見

- ・参加者にとって、参加のハードルが高いのでは
- ・「詩のボクシング」という名称を使っても良いのか調整が必要
- ・詩の朗読に限定しないで絵本の朗読など言葉を使った特技なら参加可能としてはどうか

今 後

- ・5月頃の開催を目指して具体的な内容を詰めていきます

③ 作文教室（新規提案）

内 容

- ・ 2人1組のペア(親子もしくは友人同士)を組んでお互いのことを作文に書いてもらう
親しい人のことを改めてよく考え、それを文章で表現していく。「相手を、どんな風
に書いてやろう?」「相手は、自分のことをどんな風にかくのだろうか?」。色んなことを
思いめぐらせながら、「書くこと」を楽しむ。
最後に、みんなの前で自分の作文を発表。発表することで書き上げたという達成感を
味わってもらい、聞くことで他の人の文章の書き方や良い所を発見していく
- ・ 時間があまれば言葉を使ったゲームを行う。擬音語からモノを連想するゲームなど

会議参加者からの意見

対象年齢を定める必要がある

今 後

- ・ 4月頃の開催に向け、具体的な内容を調整していきます

4 Library of the Year について

- ・ 今後の Library of the Year 獲得に向けて、2014年の受賞館の分析

過去数年間は、図書館の可能性を広げるような斬新な取組が評価されてきたが、今年
は図書館の原点である「情報収集・市民への公開」を実践した京都府立総合資料館が
大賞を受賞した。今年の受賞機関はいずれも特徴的かつインパクトのある取組を
している。ことば蔵のイベントは運営会議を中心とした市民企画の多種多様な
イベントが特徴だが、LOYを目指すのであれば、ポイントを絞ったインパクトの
強い取組も必要ではないか。

来年7月の開館3周年記念シンポジウムでLOY審査委員長・大串夏身氏をお呼
びするなど直接審査員にアピールすると同時に、マスメディアなどを活用し、全
国にことば蔵の魅力をPRしていかなければならない。

また、鯖江市図書館の取組はことば蔵運営会議と非常に近いため、来年の推
薦理由を考え直す必要がある。

- ・ 今後の運営会議でどのように活動していくかを議論する予定

5 次回の運営会議

(1) 日時：3月4日（水）18：30～

(2) 場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア